

校長室だより

No. 28

平成 27 年 11 月 20 日(金)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

かとうよしかず
加藤嘉一

新たなかわいらしい仲間を迎える準備 ー就学时健康診断ー

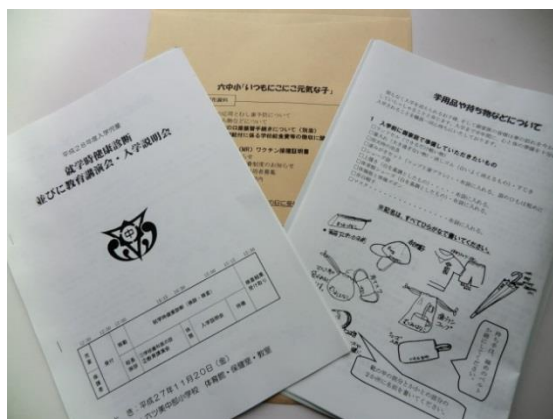
どう見ても身体より大きいランドセルを、親やおじいさんおばあさんにたのまれて背負う子供たち。「まだ保育園・幼稚園なのに」と思う子供の傍ら、それをながめる大人たちは、「いよいよか」と感慨深くなります。こんな思いになるその第一歩が、本日の「就学时健康診断」ではないでしょうか。早いもので、1年生の子達もそのときから1年が経ちました。

本日は、就学时健康診断です。小学校の生活についてと入学してくる子達の健康診断を行います。また、かわいらしい子たちが入ってきてくれるかと思うとうれしくなります。6年間で立派な成長をすることができるよう、努めなければと改めて心に緒をしめます。

今回、就学时健康診断の私のあいさつで、どんな話がよいかを数人の職員に

聞いてみました。そのなかで、こんな2つのお願いをしてみてもいいかなという話がありました。

なるほどと思いました。もう一度、小学校教育の入り口から出口までを見通し、保護者のみなさんと大切にしていきたいことは何かを見直す機会になりました。



【就学时健康診断本日の予定】

- 健康診断各種（児童）
- 学校歯科医の話
- 教育講演会
本校第 25 代校長 鶴田紀美子先生
- 入学説明会
 - ・学校行事説明
 - ・入学準備説明
 - ・事務手続き説明
 - ・就学援助制度等説明 等

【新入学児保護者へのお願い内容】

- 1 子供を育てる仲間として、保護者同士仲良くするとよい。
→保護者同士のコミュニケーションが、子供のコミュニケーション力につながる。ちょっとした持ち物や学校のきまりなど、わからないこともわざわざ学校に電話しなくても済むようになる。
- 2 「保育園・幼稚園」から「学校」というステージにかわることを知る。
→小学校は、学習の場であること。学校と家庭の役割を考えながら、年齢の発達に即した、自立性と社会性を育てることをめざしている。

この就学時健康診断では、もうひとつ子供の成長をねらう機会にもしています。5年生は、6年生のいない修学旅行と、この就学時健康診断から最高学年の仕事を任されます。今回、新入学児のお世話、学校の代表としての仕事をしてもらいます。自分のことが中心の見方・考え方から、年長者として学校の代表としての見方・考え方を育てていきます。ここから、最高学年となる自覚と責任を育てます。

ちょっとうれしい話 ートイレ清掃に見る子供の姿ー

ちょっとうれしい話がありました。

先週は、雨でじとじとと湿気が多い日がありました。そうすると、トイレや床、壁等は、結露のように湿り気が出て滑りやすくなりますし、汚れてきます。翌日乾いた床を見ると、黒っぽくなっていることがしばしば。そんな雨の降った日に、清掃の時間の見回りで、ある先生がトイレに行き、

「今日のトイレ掃除は、乾いた雑巾で拭いてね。」

と話しました。すると、ある男の子が、

「そうそう、拭いておかないとみんなが滑るし、足あとがいっぱいつくもんで、拭いておかんと。」

と言い、また、ある女の子は、

「足あとがつかないように、一週間に一回くらい、スリッパの裏を拭いているよ。」



と言ったそうです。

声をかけたその先生は、子供たちがいつもトイレを使う人の気持ちを考えていたことを知り、うれしく思うとともに、これまでそんな気持ちでやっていたことに気付かなかったことを反省したそうです。

どちらかというところ、トイレは粗雑に使われがちな場所です。この子たちは、ちゃんと自分たちのトイレの床が汚れることを気にしていました。そして、そうならないように、自分たちで工夫して清掃をしていました。使う人の気持ちをよく考えながら。

なんと素敵なお子さんたちでしょう。

美しいもの　きれいな心を
ささげる　よろこび
よろこんでもらうことのよろこび
しずかな　やさしい　心の花。
東井　義雄